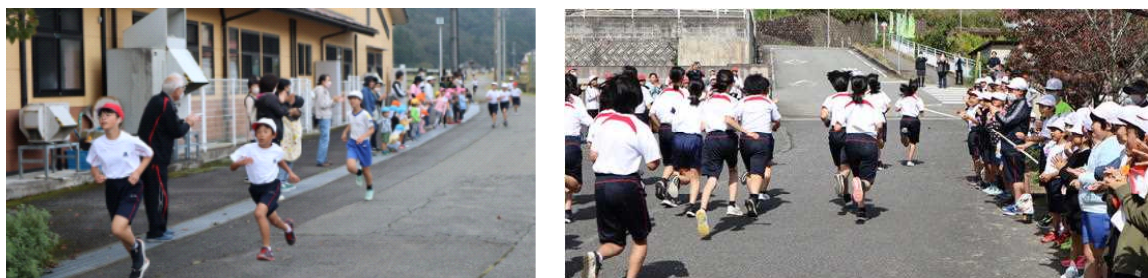


但馬中学校新人大会	
野球部(八鹿青溪中と合同チーム)	優勝
県中新人大会	準優勝
男子バスケットボール部	第3位
女子バスケットボール部	2回戦惜敗

近畿大会(11/18)へ  
県中新人大会(12/23)へ

## マラソン大会 10 / 11

秋晴れの中、子どもたちが元気に走り抜けました。多くの方の応援、ありがとうございました。速く走ることも大切ですが、まず、スタートラインに立つこと、完走することに値打ちがあると思います。子どもたち、よく頑張りました。



## オープンスクール 10 / 12・13

多くの方に、子どもたちの様子を見ていただきました。

一生懸命、楽しそうに学習している子どもたちでした。



## P T A 教育講演会 10 / 13

生活リズムを整えること、睡眠の大切さについてお話しいただきました。子どもたちの睡眠は、大人以上に成長のためにとても重要です。「寝る間を惜しんで」というのは、昔の話ですね。



### 子どもが人を侮辱する言葉を使ったとき

少し前に、「ペンディングトレイン」というドラマがありました。電車が30年後、隕石により人類が滅亡した未来へタイムスリップ。なんとかタイムスリップの謎を解き、元の時代(タイムスリップの1年後)に戻り、隕石落下を回避した未来を取り戻そうとする物語です。

乗客たちは、はじめ、タイムスリップの現実が受け入れられなくて混乱します。混乱の中で、乗客の一人、佳代子(松雪泰子)が、若い子から「うっせいな、オバさん!」と言わす。それに対して、佳代子は「それで黙ると思う? 今どき若いだけで価値があるっていうの周回遅れだから。アップデートしたら?」と言い返す場面がありました。なかなか鋭い指摘だなと思いました。

そういえば、自分が子どもだった頃、「おばさん」って、母親以外の大人の女の人を単純にさす言葉だったように思います。それがいつの間にか、年を重ねることに否定的な雰囲気共有され、言葉そのものが侮辱的な色を帯びるようになってしまったように思います。(昔から侮辱的な意味合いでも使われていたけれど、自分が子どもだったから気づかなかっただけかもしれませんが。)

子どもたちが(幼ければ幼いほど)、侮辱的な言葉を平気で使って、どきっとすることがあります。「そんな言葉を使ってはいけません。言われた人が悲しむでしょ。」と大人は言いがちですが、それでは、子どもたちの心には届きません。大人は、これをチャンスと捉え、正面から向き合う必要があります。

大切なのは、人を侮辱するような子どもに育てて欲しくないという願いを伝えることだと思います。どんな言葉で語れば子どもたちの心に届くのか、悩む日々です。

